

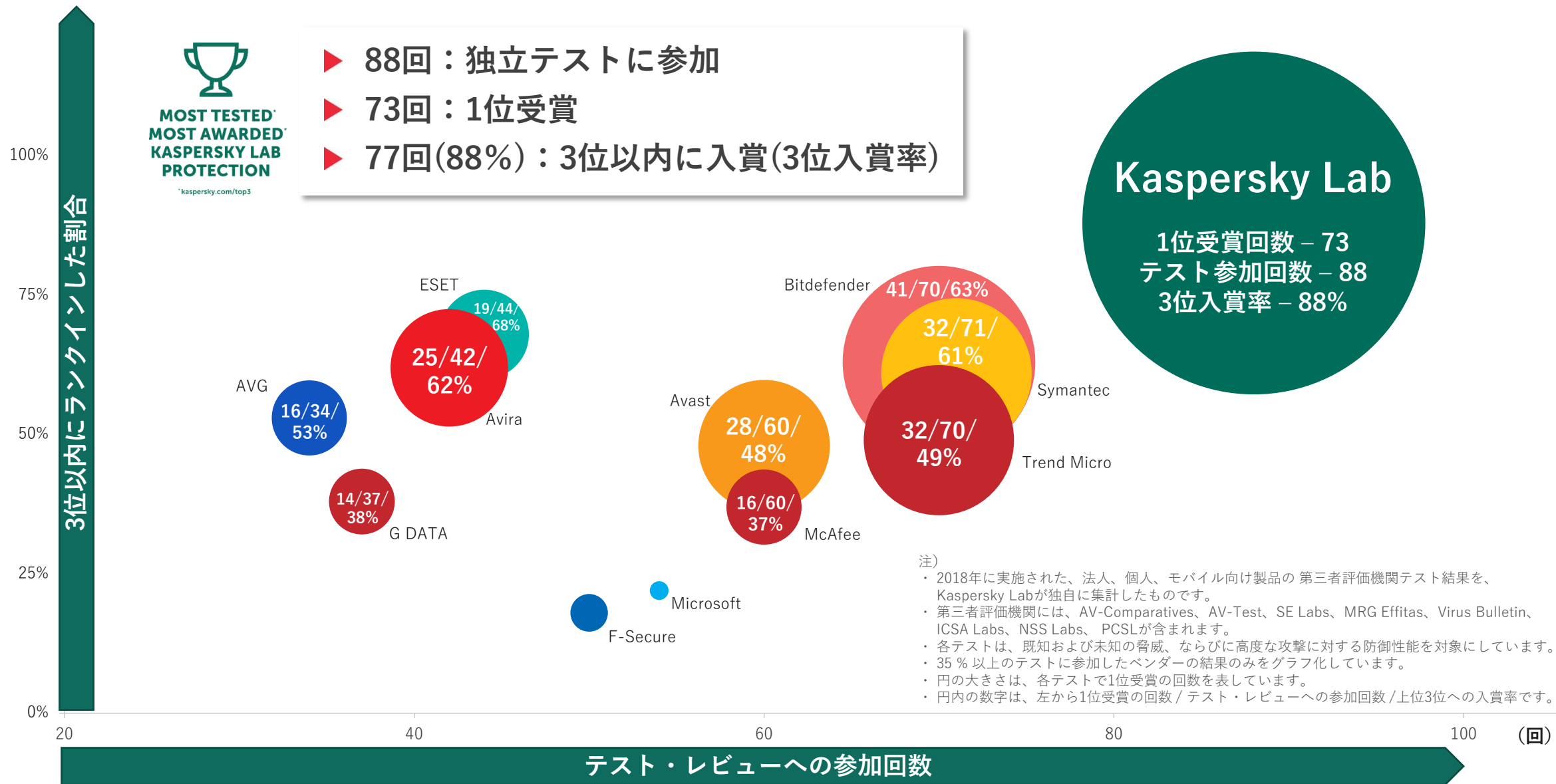
# 2018年 第三者評価機関テスト - TOP3プロテクション



- ▶ 88回：独立テストに参加
- ▶ 73回：1位受賞
- ▶ 77回(88%)：3位以内に入賞(3位入賞率)

## Kaspersky Lab

1位受賞回数 - 73  
 テスト参加回数 - 88  
 3位入賞率 - 88%



注)  
 ・ 2018年に実施された、法人、個人、モバイル向け製品の 第三者評価機関テスト結果を、Kaspersky Labが独自に集計したものです。  
 ・ 第三者評価機関には、AV-Comparatives、AV-Test、SE Labs、MRG Effitas、Virus Bulletin、ICSA Labs、NSS Labs、PCSLが含まれます。  
 ・ 各テストは、既知および未知の脅威、ならびに高度な攻撃に対する防御性能を対象にしています。  
 ・ 35%以上のテストに参加したベンダーの結果のみをグラフ化しています。  
 ・ 円の大きさは、各テストで1位受賞の回数を表しています。  
 ・ 円内の数字は、左から1位受賞の回数 / テスト・レビューへの参加回数 / 上位3位への入賞率です。

# 2018年 第三者評価機関テスト - TOP3プロテクション 集計詳細

TOP3プロテクションは、2018年に実施された、法人、個人、モバイル向け製品の第三者評価機関テスト結果を、Kaspersky Labが独自に集計したものです。

- ・TOP3プロテクションには、Avast、AVG、Avira、Bitdefender、ESET、F-Secure、G DATA、McAfee、Kaspersky Lab、Microsoft、Symantec、Trend Microを始めとする主要ベンダーが含まれます。
- ・35%以上のテストに参加したベンダーの結果のみをグラフ化しています。
- ・各ベンダーがいずれかの第三者評価機関テストに参加すると、「上位3位への入賞数」と「テスト参加数」に反映されます。
  1. ベンダーが各テストで3位以内に入賞・受賞すると「上位3位への入賞数」に加点されます。1つのテストで複数のベンダーが同じ順位になった場合、後続するベンダーの順位を「上位ベンダーの数+1」として計算します。例えば、順位が「1、2、2、4」となることはあっても、「1、2、2、3」となることはありません。順位が「1、2、2、4」の場合、「上位3位への入賞数」ではトップから順に3社のみが加点されます。ただし、最終結果で「レベル」を獲得するタイプのテストは、複数のベンダーが「レベル1」、「レベル2」などを獲得することがあるため例外であり、上位3レベルまでを獲得したベンダーが「上位3位への入賞数」として加点されます。1社のベンダーの複数の製品が入賞した場合、製品ごとに「上位3位への入賞数」に加点されます。
  2. 「テスト参加数」は、ベンダーの製品がテスト/レビュー/総合評価に参加するたびに加点されます。
- ・「上位3位への入賞率」は、ベンダーの「上位3位への入賞数」を「テスト参加数」で割ってパーセント値に変換する方法で算出しています。
- ・2018年のTOP3プロテクションは、2019年2月1日時点のデータを集計したものであり、それ以降はテストやレビューは含まれていません。

	テスト参加数	上位3位入賞数	上位3位入賞率	1位受賞数
Kaspersky Lab	88	77	88%	73
ESET	44	30	68%	19
Bitdefender	70	44	63%	41
Avira	42	26	62%	25
Symantec	71	43	61%	32
AVG	34	18	53%	16
Trend Micro	70	34	49%	32
Avast	60	29	48%	28
G DATA	37	14	38%	14
McAfee	60	22	37%	16
Microsoft	54	12	22%	4
F-Secure	50	9	18%	8